

衆院選・市長選初の同日実施

市長選は5氏の争いか



早稲田夕季氏

安倍晋三首相は9月25日、衆議院の解散を表明した。これを受けて民進党所属で鎌倉市選出の県議会議員、早稲田夕季氏（58）が議員を辞職し神奈川4区（鎌倉市、逗子市、葉山町、横浜市栄区）から国政挑戦の準備を進めている。また任期満了に伴う鎌倉市長選挙（10月15日告示、22日投開票）には、NPO代表の寺田浩彦氏（55）が立候補を表明し、現職・新人合わせ5氏による争いとなる公算が強くなっている。衆院選は10月10日告示、22日投開票となり、鎌倉市では初の市長選との同日実施となる。

早稲田氏が衆院選へ

鎌倉市選出で民進党所属の県議会議員、早稲田夕季氏が9月25日、辞職願を県

変え、将来への不安を解消したい」とし、憲法に関しても「9条を堅持したい」とした。

14年12月に実施された前回衆院選の鎌倉市の投票率は59・97%だった。

議会議長に提出し、本会議で許可された。早稲田氏は昨年3月、同党神奈川4区の公認候補予定者に決定しており、現在、同区から立候補の準備を進めている。

早稲田氏は東京都出身。政府金融機関などでの勤務を経て2005年に鎌倉市議会議員となり、2期目途中の11年に県議会議員に初当選。15年の選挙で再選を果たしていた。

早稲田氏は取材に対し、安倍首相による突然の解散を「加計、森友問題を隠すためのものだ」と批判。自民党の経済政策「アベノミクス」については「大企業と一部の富裕層を優遇するもので、庶民の生活の底上げにつながっていない。税金の使い道を人への投資に

民進党の候補予定者が相次いで小池百合子東京都知事の新政「希望の党」に合流している状況に対しては、「リベラルの代弁者として、従来通りぶれずに活動をしていく」と話した。

神奈川4区では元みんなの党党首で現在は無所属で活動する浅尾慶一郎氏（53）、防衛・内閣府副大臣を務める自民党の山本朋広氏（42）がそれぞれ出馬へ準備を進めているほか、「希望の党」の動きにも注目が集まる。